

# 経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

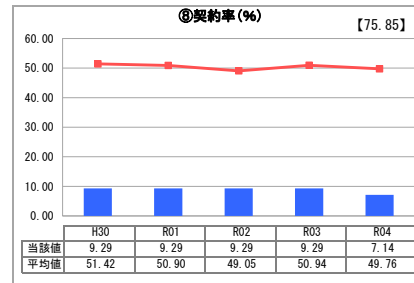
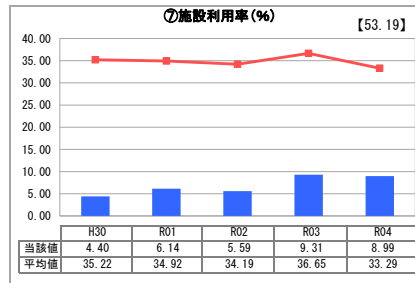
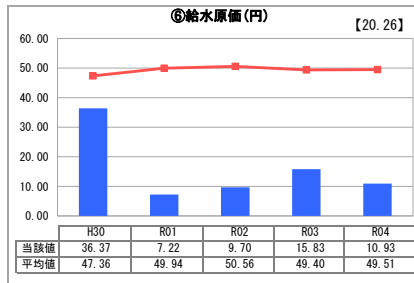
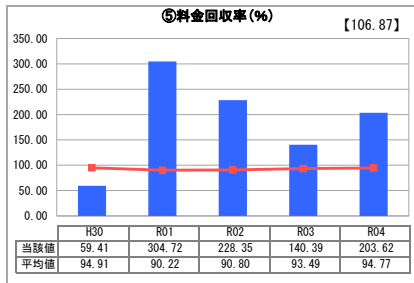
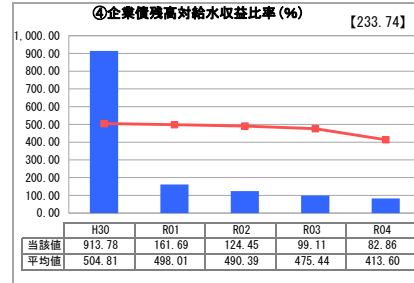
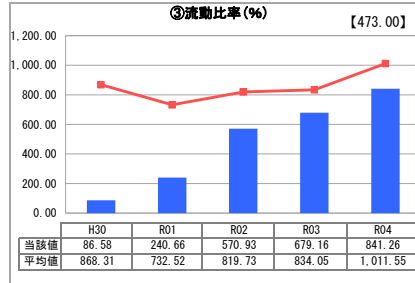
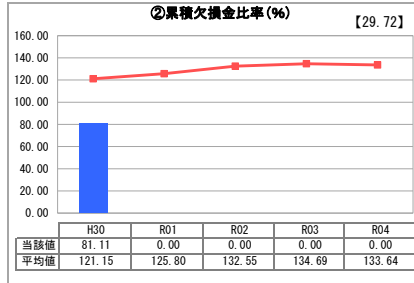
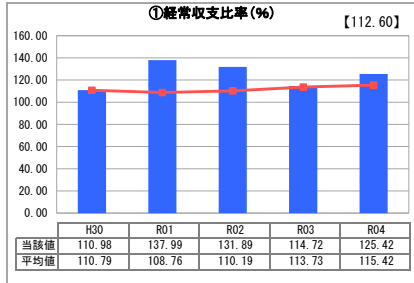
新潟県 胎内市  
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	7,000	極小規模	1	629
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	97.7	1	500	非設置	

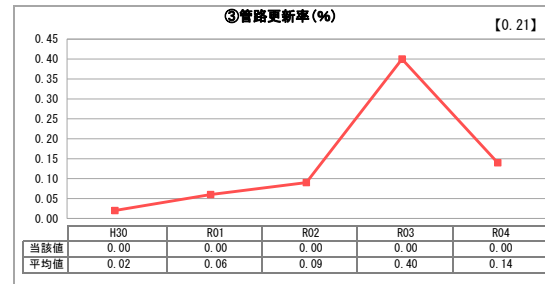
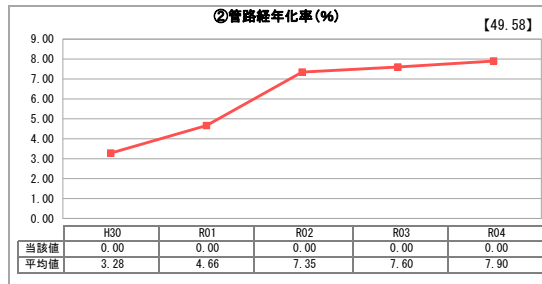
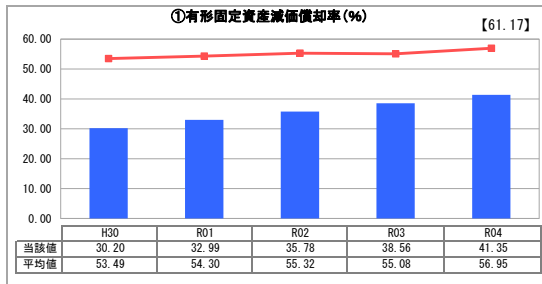
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 各年度100%を超えており、継続して黒字であることを示している。
- 前年度と同様に0%である。
- 預金等の積み重ねによる流動資産の増加に伴い、前年度比は増加した。類似団体平均値と比べ低い数値となっているが、100%を超えていることや、流動負債には建設改良等に充てられた企業債が含まれていることから、一概に支払能力が低いとは言えない。
- 企業債の償還により残高が減少しており、現時点では新規の借入予定はないため、今後は数値は低下し、令和7年度には0%になる見込みである。
- 100%を超えており、給水に係る費用は給水収益で賄えていると判断できる。
- 経常費用の減少により前年度比は減少となった。類似団体平均値と比べても低い数値となっている。
- 現時点では1社のみ給水を行っているため、1日平均配水量が低いことに伴い、利用率は低い数値となっている。今後は企業誘致等で給水件数の増加に努めていく必要がある。
- 現時点では1社のみ給水を行っており、前年度比が減少した要因として、供給条件の変更により、契約水量が減少したためである。今後は、企業誘致等で給水件数の増加に努めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- 機械設備等の短期更新が必要な資産が含まれている。現時点では令和6年度まで耐用年数に達する資産がないため更新の必要はないが、設備等の老朽状況を判断しつつ計画的に進める必要がある。
- ②、③については、該当するものはない。

## 全体総括

- 単年度収支の状況から、概ね経営が維持されているところであるが、現時点では1社のみ給水を行っている状況であり、安定した経営を維持していくため、今後は企業誘致等で給水件数の増加に努めていく必要がある。
- 現時点では更新の必要はないが、機械設備等の故障や更新に備え、経費削減を図ることによって、長期的な財源の確保に努めていく必要がある。